



滝野東小学校だより

令和元年9月2日 文責 神田

一生懸命やることの大切さを伝える ～過程を励ます声かけを～

学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。真っ黒に日焼けした子どもの顔から楽しい毎日を過ごした様子が伝わってきました。

夏季休業中には、保護者、地域の皆様が、ラジオ体操や地区水泳などで、子どもたちの生活を見守って下さり、ありがとうございました。おかげ様で大きな事故もなく、無事2学期を迎えることができました。この夏も、昨年同様、お盆までは酷暑の日が大変多く、地区水泳は大盛況でした。暑い中、監視当番をして下さった保護者の皆様、大変お世話になりました。

さて、最近は、朝夕に吹く風の中にほんの少し秋の空気を感じるようになってきました。また、涼しげな虫の声も聞こえ始めました。まだまだ残暑厳しい毎日ですが、2学期もお子様が毎日元気に登校できますよう、温かい声かけをよろしく願いいたします。



2学期には、運動会やふれあい音楽会を予定しています。これらの行事を通して、子どもたちは、集団の中でさらに成長した姿を見せてくれることでしょうか。大いに期待したいものです。本校では、子どもの成長した姿を保護者の方と共に喜び合えるよう、2学期も教育活動を充実させていきたいと考えています。1学期同様、本校教育へのご理解とご支援をよろしく願いいたします。

わたしは、この夏、「羽鳥慎一モーニングショー」（テレビ朝日）などで取り上げられ、大反響となった「しょうがっこうがだいすき」（学研プラス）という絵本を手にとりました。作者は、小学校2年生のういさんです。絵本には、小学校2年生の立場で、これから小学生になる子どもに宛てた16のアドバイスが書いてあります。その中でも印象に残ったのは、ういさんの「いっしょうけんめいやろう」のアドバイスです。下記に紹介します。

〇いっしょうけんめいにやろう

しょうがっこうになると、「たいいく」というじゅぎょうがたくさんあって、うんどうのじかんがきまっている。はしるはやさは、きにしないでいいよ。うんどうがとくいなこもいれば、にがてなこもいる。はやくはしれることが だいじなことじゃないんだよ。でも、いっしょうけんめいやることがだいじなんだ。

ういさんは、体育を例にとって、一生懸命やることの大切さを伝えていますが、これは、体育以外にも多くのことに当てはまります。走りが速い・遅いは目に見えて分かることで、運動会でも、みんなの注目が走る速さに集まります。しかし、わたしは、ういさんの言うように、走る人の頑張りにも目を向けたいと思います。子どもの頑張りは、表情を見れば分かります。また、当日までの子どもの練習に臨む姿勢を見れば分かります。この2学期は、折りに触れて、子どもたちに一生懸命やることの大切さを伝えていこうと思っています。ご家庭でも、お子様の頑張りの過程を認め、励ます声かけをよろしく願いいたします。

★うれしいお知らせ★

8月17日（土）の早朝よりPTA評議員様と本校職員とで奉仕作業を行いました。遊具のペンキ塗り、溝掃除、窓ふきなど、校舎内外をきれいにさせていただきました。おかげで気持ちよく新学期を迎えることができます。ありがとうございました。

また、加東市より、夏季休業中に教室の床（新館以外）と廊下（本館の旧館部分）をきれいにさせていただきました。両方の床には、ビニール素材のクッション材を貼っています。色は、教室にはライトブラウンを、廊下にはライトブルーを採用しました。おかげで、校舎内の雰囲気がとても明るくなりました。また、2階多目的室と1階会議室では、エアコンを入れ替えていただきました。教育環境が整い、さらに学びを充実させることができます。

